

授業の試み

書写の時間。字を練習する前に、少し教材を読み取る時間を取って子どもと楽しんでいきます。校内研で授業記録を起こしてみたら「と提案した手前、私もやってみました。二年生でやっと20分足らずの授業記録です」

「○○○○」

「ぴきの犬が、体をまえにかがめて、はげしくほえたてています。そのすぐはなききに、かきねにびたりと体をよせて、一ぴきの小ねこが、毛をさかだててふるえています。カーッと口をあけ、ニャーオ、ニャーオとないています。」

すぐそばに、ふたりの男の子がたって、なりゆきをみていました。

まどから、それをのぞいていた女の人が、とぶようにして、かいだんからかけおりにききました。女の人は、犬をおっぱらうと、男の子たちをしっかりとけました。

「あんたたち、はずかしくないのー！」

「どうして、はずかしいの？ぼくたち、なにもしていませんよー！」

男の子たちは、びっくりしたように、いいました。「○○○、わるいのですよー！」女の人は、まっかにおこっていいました。

この授業で意識したこと

- ① みんなを集めること
- ② 具体的な発問
- ③ 叙述に即してイメージを創ること

記録

話のすじをつかみ、疑問を出し合う段階

T「このお話には題がついていません。みんなならどんな題をつけるかな？て思ってたわごめいてあります。」

C「何や」

T「一度読みます。(何なさき)「かきね」なりゆき「カキネ」など簡単に説明しながら読む」

「○○○悪いのですか」「いもわごめいてあります。」

T「どうわかつた？分かんないか？」

C「どうして一度自分で読んでください。全員立って、読み終わったらすわる。自分の速さでいい。声をそろえなくていいよ。」

C「読む」

T「最後の一人になっても読むと

いつのがえらいな。裕太に「分かんないことがあった人……ほっみんな分かったの？○○○○が分かんないの？」

T「これね。○○○悪いのですよ」板書

C「題名」

T「題名も分かんないね。他には？大輝 あんたたちははずかしくないの？何かはずかしいの？」

T「お、大輝君何ていわった？みんなにもういべん言って大輝 何がはずかしいの？」

T「大輝君みたいに思った人みんなに ああ、ようけいてるやん。」

「はずかしくないの」板書何がはずかしいの、分かんないね。翔太 何で犬をおっぱらったの？」

C「猫がかわいそうやから」

T「うん？」

C「猫が、子猫が、等の声」

T「誰か言って」

久美 子猫が犬にさらわれたりしたらあかんから、かわいそうやから」

T「子猫がかわいそうだからおっぱらった。みんなそれでいい？」

翔太 君は……」

T「まだ、他に分かんないところある？場面状況・イメージを具体的に……」

「じゃ先生の方からいへんか聞きます。母(おま)の思っか私はいっつも思っか聞かしててください。」

「じゃもう一度黒板見て。子猫と犬の略図」

「ぴきの犬が、体をまえにかがめて、はげしくほえたてています……毛ををさかだてています。」

T「わがてる。口々に」

T「こわがっている。それでいいか？」

「カーッと口をあけ……なりゆきを見ていました」

「さあ、誰か出てきた？」

C「男の子」

T「男の子はどこのにいる？」

C「ねこの前」

T「男の子が一人、前で見ていますか？」

「じゃ聞くで。今ここに犬がある。みんなはどんな犬が頭に浮かびますか？」

久美 黒い、凶暴な犬。

T「久美ちゃん、黒い、きょうぼつな犬」板書

あきほ 久美ちゃんとおちよつといっしょやけど、黒くって大きい犬。

T「ほう、じゃ久美ちゃんの列の人に聞いてみようかな。しようじ君は」

しようじ ……」

T「考えといてや しほちゃん、しほ 大きい犬」

なつみ ……」

T「大きい犬、小さい犬どっちに賛成？ 大きい犬の方？ うなずく」

上林 なんかかわそう。きょうつ呼ぶそう」

ともひろ イメージ的には久美ちゃんといっしょ

たつき ブルドッグみたいな犬

T「この犬、読んでると、てっかくてきょうつで、ブルドッグみたいにこわそうな犬だ。賛成」という人

C「多数拳手」

T「じゃ、反対」。そんな犬じゃないていっ人

C「なし」

T「誰もいせんか？……教頭先生は 反対」です。

C「ぼくも反対」

T「この犬は、そんなにでっかくて凶暴な犬でしょうか？……よく読むと違う考えが出てくるぞ……」

C「分かった！」

T「分かったという人は先生に内緒で教えてくれ。子どもたちの間を回る」

おっ 渉君 一つ見つけた。へえー」

おー、ともひろ君と渉君は同じところを見つけていますね。

おっ 渉君も、三人とも同じところを見つけていますね。おっ 渉君も。

ともひろ ただのへい犬。

T「みんなにやっほり、この犬のわい犬だと思っ人」

「じゃそんな犬じゃない。ただのへい犬だと言っ人。訳も言って」

じん 板書「わい犬だと思っ人」

たつき 板書「わい犬だと思っ人」

「やっほりおっ 渉君も思っ人」

